

地区協わかば

発行者: 若葉学校地区協議会
会長 藤丸 卓男
事務局: 調布市立若葉小学校内
連絡先: 調布市協働推進課
042(481)7036
地区協mail:
wakabatikukyo@gmail.com

10周年を迎えて

若葉学校地区協議会の藤丸です。当協議会は今年10周年を迎えました。平成21年3月29日に設立総会を開催し、会員36名で発足し、2年目には46名となり、現在では約60名の会となりました。

事業は防災、防犯、広報・地域交流が主な活動ですが、この間、色々と工夫を重ねながら活動を行い、無事10周年を迎えることができました。これも会員の皆様の努力と自治会などの地域の皆様、若葉小学校、第四中学校をはじめ関係団体の皆様方のお蔭で活動を続けてこられたと思っております。

今年は平成から令和へ元号が変わった節目の年でもあり、今後も地域のためにいろいろと活動を行っていかねばと思っておりますので、引き続き皆様方のご協力とご支援をお願い致します。



(会長 藤丸 卓男)



本年度若葉小に着任しました、渡邊桂子です。
若葉地区学校協議会は、年間を通して地域に向けて様々な活動を展開されています。私も、保護者・地域の皆様と協働で「花と笑顔のあふれる学校」を創ってまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

(若葉小学校 校長 渡邊 桂子)



4月に若葉小学校の副校長として着任しました。
地域に広がる若葉の森など多くの緑と落ち着いた地域の雰囲気の中で育つ若葉小の子供たちはとても幸せだと思います。

地域の皆様の温かい支えや見守りを今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(若葉小学校 副校長 榊原 敦)



「地域と保護者と学校と」

先日、若葉地域の方から「四中生がボランティアとして、地域のために頑張った」と言う連絡を頂きました。始業式で、その報告(氏名は未発表)をした時、本人達はとても誇らしげな表情でした。地域⇒社会⇒国⇒世界に役立つ人間を、地域や保護者の方と協力し、育てたいと思います。

ご協力ください。

(第四中学校 校長 菱沼 省二)



今年度より第四中学校の副校長として参りました長田克巳と申します。
着任して6ヶ月ですが四中生の頑張りは素晴らしいです。ボランティアチームもいろいろな場所で活躍しています。

今後も、ますます地域、保護者、PTAの皆様との連携を密にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

(第四中学校 副校長 長田 克巳)

若葉の杜の音楽会

7月6日、若葉小学校体育館に於いて、「第8回若葉の杜の音楽会」を開催しました。

熱中症対策には十分気を配り当日を迎え、お集まりの幼児から高齢者までのあらゆる年代の方々にお楽しみ頂き、無事に終えることができました。

今回は、神代高等学校の初参加が有り、これで若葉学校地区内の小・中・高・大の学校が揃うことになりました。



若葉小4年生の元気一杯の「エイサー」に、大きな拍手も弾んでいました^_^



桐朋学園大学出身の長内鞠英さん、竹本伶愛さんのフレッシュなお二人による連弾！



四中合唱部の部員9人は確かな発声で、時には男子4人の応援を得て、情感豊かに歌い上げていました！



神高吹奏楽部のパワフルでリズムカルな演奏に、場内から思わず手拍子が湧き上がりました！



四中吹奏楽部は「梁塵秘抄」という難易度の高い曲に挑戦しましたグッジョブ👏

安全で安心な生活や災害時には、「平素のつながり」が大事であると考えております。音楽会がその一助になればと願って企画しております。



防災座談会

今年の防災座談会は「災害発生1週間をどう生き抜くか」と題し開催した。当日は48名の参加者で、各自治会代表32名と東部公民館に電話申し込み者6人、主催者10名。（国領町から1名の参加あり。）

今回、初めての試みとしてチラシを1500枚作成して若葉町、入間町など近隣の住宅に個別配布をした。

「座談会」は、1部：講演、2部：座談会とし、講演は、市防災安全課の堀課長より「災害発生1週間をどう生きるか」について過去の被災例などをプロジェクターを使って詳しく話された。その後4グループに分かれ「座談会」がおこなわれた。

課長からは、

- ・「いざと言う時、役所を当てにしないで自分の身は自分で守る」ということが市民に浸透してきている。

参加者からは、

- ・役所らしからぬ講演が聞け、よかった。
 - ・何より防災意識の向上が求められる。
 - ・日頃からの備えが大事なことが分かった。
- など多岐にわたった話合いが行なわれた。

（防災推進委員 星野 正雄）



「マンホールトイレ」

知っていますか？

災害時にマンホールの蓋を開けて、その上に組み立て式のトイレ室、便器を取り付けて完成というものです。マンホール下の管は下水道につながっているため、汲み取る必要がありません。

3年前第四中学校体育館南側に9個のマンホールが完成し、個室用4セット、車いす用2セットのトイレ室、便器が第四中学校防災備蓄倉庫に用意されています。今まで防災訓練等で2回設置訓練を行っています。

今回四つ葉防災メンバーはいくつかのテーマを持って、検証作業を行いました。実施は9月14日（土）午後1時から、市防災安全課2名の指導を受けながら7人で個室用、車椅子用を組み立て設置環境の確認を行いました。完成後は注水口から水を入れて、マンホール下の管に水が貯まる事、その後開閉バルブを開け下水道への流れを確認しました。

トイレ室が風で飛ばない様固定する紐を結ぶ所が無い、トイレをきれいに使うにはどうしたら良いか、男女に分けるには、バリアフリーの動線等々問題点がいくつかありました。

6時間で7割の人がトイレに行くと言われていました。気持ちよく使用出来るにはどうしたら良いか、皆で考える事が大事だと思いました。

（四つ葉学校防災協議会 会長 笠木 勝司）



姿の見える防犯活動を

世の中には数えきれないほど沢山の犯罪がありますが、それぞれに対応の難しさがあります。地区協では主として、「子ども達を守る為の不審者出現の抑止」「特殊詐欺の被害絶滅」「空き巣の侵入防止」に取り組んでおります。

当地域においては、永い間不審者は出現しておりません。又、特殊詐欺は、約半年あまり被害がありませんでしたが、最近2件の被害が発生してしまいました。空き巣は、残念ながら少し増加傾向にあります。



不審者や空き巣には、人の目と姿が大きな抑止効果を発揮します。特殊詐欺には、回覧やポスターでの啓発や意識改革が不可欠ですが、大事なことは、一人で判断しない（誰かに相談する）ことです。

いずれの防犯活動も、「誰かがやるだろう」「誰かにやらせておけば」ではなく、家族やご近所の人を守る為、他人事とせず、パトロールや声掛け・ごみ掃除などの姿の見える活動に知恵と力を貸して下さい、切にお願い致します。



(防犯推進委員長 元部 欽司)

夏まつり

射的には、なんと500人近くが押しかけ好評でした。一人で複数回挑戦する子ども達もたくさんおり、次に出店する時は、何らかの回数制限を設けることを、検討する必要があるかもしれません。



金魚すくいに参加しました。初めてで緊張しましたが、皆さんに優しくご指導していただいたので楽しくお手伝い出来ました。当日は暑かったですが、子供たちが楽しそうにしていたのが印象的でした。



お好み焼きは、男性スタッフが焼きを、女性スタッフが売り子を担当し、昨年を上回り、初日は120食、二日目は170食を完売。途中、食材の買い出しをするなど、100円という



破格な価格が皆さんに喜んで頂けたと思います。

「おやじの会」

お待たせしました。若葉小学校のおやじの会の活動が始まりました。子どもたちと地域に、笑顔や繋がりを広げられるよう活動していく所存です。

子どもたちの笑顔は、保護者や地域にも波及して、よりよい地域社会を形成していくことでしょう。その波を創ることを、微力ながらおやじの会にも担わせていただきたいと思います。お力添えをお願いします。

(若葉小の保護者の方へ 会員募集中です。お気軽にお声掛けください。)(若葉おやじの会 代表 向後 亮一)

